「良い歯の会」機関紙

いのち

医（い）・農（の）・智（ち）

今を築いてきたもの
絶望に背を向け
本質を問い続けてきた
いのちの輝きは
思想となり理念となって
生き続ける
心に　みえてくる
求める　まだ先にある
いのちの　本質
永遠と繋がってゆく　いのち
（仁志）

第 27 号
発行
丸橋歯科「良い歯の会」
発行所　群馬県高崎市栄町21-1
TEL　027-323-9524
FAX　027-322-3139
http://www.maruhashi.com/
E-mail:maruhashi.s@cb.wakwak.com

―理解という妙薬・無知という毒素―
良い歯の会の思想を深めた生涯

丸橋　賢

良い歯の会の意味をほんとうに知っていた人

長年の「良い歯の会」の活動が認められた表彰式での渡辺さん

この会の発展に尽くし、この会の生き方そのものを生き、渡辺浅乃さんは五四才の短かすぎる生涯を閉じた。平成二十年、二月十五日の午後六時だった。

単なる健康教室ではなく、人間的な生き方とは何かを問い、探求しつづける「良い歯の会」の意味を、ほんとうに理解していた人だった。理解していたというよりも、この会が渡辺さんの思想と主張そのものであったと思う。「良い歯の会」は、一九八一年七月に第一回を開いてから二七年間、一回も休まず、第二十曜日に定例会を開催してきた。今でも毎回、沢山の参加者が続いていて、治療がなくてもこの会に参加するために、わざわざ飛行機で、ホテルを予約し、遠方から来る人もいる。娯楽性は全くない、この種の教室が、二七年間も続くことは稀なことだと思うが、そのように人びとを魅きつける力とは何であったのだろうか。

毎回の参加者のアンケートを読めば、その力とは何なのか、よくわかる。多くの人が、この会で何かを発見するのだ。心の奥に眠っていた、いのちそのものが持つ原初の願いとは何であったのか、いのちが求める本物の食とは何なのか、自分らしく、人間らしく生きるとはどういうことなのか、人間と地球との関係とは何なのか、参加者は何かを発見し、ときめき、感動を覚えるのである。ほんとうの何かを探求すること、それはまさに哲学的、思想的営為に他ならない。そしてこれこそ他の健康教室には無い、「良い歯の会」の本質なのである。渡辺さんの「良い歯の会」や歯科医療への関わり方は、決して単なるビジネスではなかった。それらを通しての彼女の生き方の探求であり、主張であったのだと思う。

渡辺浅乃文庫

渡辺さんの遺品の蔵書の中から、特に愛読していたものを選び、渡辺浅乃文庫を作った。丸橋全人歯科の研修室にあるので、会に参加の時、是非ご覧いただきたい。これを見れば、「良い歯の会」の探求を支えるために必要なものとは何か、よくわかる。彼女はホリスティック医学協会の生活習慣病予防指導士であったので、食や栄養、健康関係の本も当然あるが、最も多いのは詩、文学、哲学関係のものである。特に鮎川信夫、田村隆一、北村太郎など荒地派の詩や詩論、大岡昇平、武田泰淳、野間宏など、第一次戦後派の作品が目立つ。一般的には、この分野まで読む人は少ないが、これらの文学者の作品を読んでしまうと、他のものでは物足らなかったのだと思う。現在の文学に比べ、第二次大戦直後の文学は、ずっと思索的であり、探求的であった。「良い歯の会」が思索的であり、探求的であるためには、これらの読書が不可欠であったのだ。

力の限り「良い歯の会」に尽くして

二月十五日、渡辺さんは亡くなったが、その一ヶ月前、一月十二日の「良い歯の会」には、痛々しいまでに体力を無くし、やつれながら頑張っている姿が見られた。めっきり言葉も少くなり、立っているのもやっとのようだった。一月の「良い歯の会」は特別企画で、今回は前半が短い私の話と患者さん二人の体験発表の後、後半は多種の食品について、自然な本物食品と、一般市販食品の食べ比べ大会だった。いつもより食品の手配や準備が大変で、衰弱した体にはこたえたと思う。しかし、「休んでよいから」「他の人にやってもらうように頼んだ方がよい」と言っても、力の限り、自分でやろうと心に決めている様子だった。

「休めば治るわけでもないから」というのが返事だった。

一月、試食会が終ると、渡辺さんはそのままソファに倒れこんでしまった。それでも反省会には起きてきて、次の朝、やっと出勤し、「もう限界です」と、辞職願を持ってきたのだった。

「十分休んでよいから」「調子の良い時だけ出勤するだけでもかまわないから」「長年、頑張って貢献してきたのだから、遠慮なく療養を優先させなさい」と何回言っても全く聞かず、休むことなく出勤し、その間に通院する生活を続けていた。

辞表を出して帰宅し、そのまま寝込んで一ヶ月、既に打つ手はないと言われていた渡辺さんは在宅でホスピス医のケアを受け、二月十五日に永眠したのである。文字通り、覚悟の上で、力の限り、目的に投じた生涯だった。十年前に乳癌を煩い、帯津先生の所で手術を受け、それは全快したが、四年前に卵巣癌が見つかった。彼女のお母さんと全く同じ病気である。早すぎた最期は、未だ果せない望みを残した叫びが見えるようであった。しかし、信ずる生き方と目的に、死を覚悟して身を投じた死に様は、私たちに迷いのない覚悟を残してくれた。理想を求めにくい日本の現実の中にあっても、動じない心で、私たちは「良い歯の会」や全人歯科医療の理想に向かい、進んでゆかなければならないのだ。

年金に見えた心寒い現実

振り返れば、「良い歯の会」や歯科医療を通して理想を求めようとする私たちの闘いは、常に夢を壊す現実との闘いであった。医療の透明化や質の向上を主張すれば歯科医師会から激しい攻撃を受け、勤務医に辞職を迫るなど、あらゆる圧力が加えられた。インターネットを用いた悪質な中傷も常に受けている。

「丸橋のおかげで群馬の指導監査が厳しくなり、収入が減った。丸橋が補償すべきだ」などという低劣な書き込みなどが沢山ある。自分たちが不正請求をしていることを白状しているようなものだ。

日本の国の質も悪い。例えば渡辺さんが死んで、姿を見せた年金も心を寒くさせるものであった。渡辺さんは個人と法人の合計で一ヶ月計九万円以上の厚生年金を掛けていたが五四才で死ぬと一文も支給されなかった。見舞いも埋葬費も出ない。可哀相だった。支払われない年金が五千万件もあるそうだが、国は徴収だけは漏れがないように強制的に天引きする。これなら民間の任意に加入した方がよい。税金も、この国は取ることばかりに熱心で、国民の幸せのためには使い渋る。

国からして、夢を育みにくい現実だが、どんな状況も一切気にせず、私たちはより素晴しい「良い歯の会」と歯科医療を目指してゆく覚悟だ。渡辺さんもそれを喜んでくれるだろう。

渡辺さんのご苦労を忘れません

丸橋ファミリー歯科 院長　青木 博之

渡辺さんの訃報が届いたのは、紅白の梅がいっぱいに生けられた診療室で、従業員総出で歯科相談会の準備をしている時でした。

思い返せば渡辺さんとは沢山のイベントや活動をしてきました。特に思い出に残るのはみかぼ高原荘で行われた生態学的臨床セミナーです。これは丸橋院長が歯周病などの歯科疾患を生態学的見地から診断、治療法を解説するセミナーですが、講義の他にも期間中の食事が全て有機野菜や無添加の食品を使った完全手作りであったことも目玉の一つでした。当然人気を博し日本全国から多くの先生方、スタッフの方が参加して下さいました。その生態学的臨床セミナーを陰で支えていたのが渡辺さんでした。

準備することは限りなくあったと思いますが、特に神経を使っていたのが食材の管理でした。期間中全ての食材、それも遠方からの取り寄せ品もありましたし、セミナーの期間が8月初めと傷みやすい時期でもありましたから、大変なご苦労だったと思います。仕事が終わって誰もいなくなった連雀町診療所の1階の倉庫の中でたった一人汗だくになって食品の整理をしている姿が今でも忘れられません。そんな渡辺さんの姿から多くのことを教えられました。

全人歯科ができてからは自然の花の素晴らしさを教えていただきました。見事に生けられた花の存在感にはよく圧倒されました。梅と言えば有名な歌があります。

「東風（こち）吹かば香り起こせよ梅の花
主（あるじ）無しとて春な忘れそ」

渡辺さんはまさに良い歯の会の主とも言うべき存在でした。この歌の主と渡辺さんを重ね合わせると寂しさがこみあげてきますが、梅の花が決して春を忘れないように、どんなに忙しい日々であっても、渡辺さんの偉業や我々が受けたご恩、そしてお気持ちを忘れてはいけないのだと思っています。

丸橋全人歯科の既刊本

現代日本人へ臨床現場から緊急提言
退化する若者たち
歯が予言する日本人の崩壊
PHP新書
丸橋　賢 著
756円

歯で守る健康家族
歯育・食育・治療の決め手
渡辺浅乃編集
現代書館
丸橋　賢 著
1,575円

生きる力
〈いのちの柱〉を取り戻せ
退化に抗して健康に生きるための4つの原則を紹介
紀伊國屋書店
1,680円

ほんとうは治る防げる
歯槽膿漏
難治歯周病も生活改善で克服できる
丸橋　賢 著
農文協
1,260円

新しい歯周病の治し方
全身を治す視点で歯周病を克服
丸橋　賢 著
農文協
1,470円

歯
良い治療 悪い治療
の見分け方
歯科治療の数々の問題点を解明
丸橋　賢 著
農文協
1,530円

顎偏位症（よくわかる）の治療と予防
咬み合わせ治療で頭痛・肩こりを解決
丸橋　賢 著
農文協
1,300円

インプラントで安心
丸橋賢ほかインプラント治療班著
インプラント治療をわかりやすく解説
農文協
1,600円

インプラントの実際
辻本　仁志 著
あらゆるケースに対応できる実例を写真付で説明
農文協
1,400円

全人歯科革命
患者さんの体験記で綴った
実践編
1,575円

全人的治癒への道
丸橋全人医学の全貌を説く
理論編
1,890円

癒しの思想
いのちを見つめる視座の原点
感性編
1,995円

丸橋　賢 著・春秋社

新刊案内

PHP新書
7/15発刊予定　756円

追悼特集　故 渡辺浅乃さんとともに歩んだ丸橋歯科「良い歯の会」27年の歴史

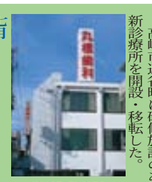
昭和四十九年九月(1974年)
丸橋歯科クリニック誕生
高崎市鞘町ツナシマビルに高い理想を掲げ、丸橋歯科クリニックが開院した。第二号の根管治療は、当時から妥協をしない丸橋歯科の治療の象徴といえる。

昭和五十一年二月(1976年)
第一回院内経営研修会開催
毎年、第一九回まで開催された院内研修会は、全スタッフが内容の濃いレポートを発表するもので、朝早くから夜遅くまで活発な討論が行われた。治療に関することから環境や食、哲学に至るまで幅広い研修内容で、丸橋歯科を牽引する強力なスタッフが育っていった。渡辺さんも第三回から参加。

研修会で使われたスタッフのレポート

昭和五十三年三月(1978年)
渡辺浅乃さんが二十四歳で丸橋歯科クリニックに就職

昭和五十六年四月(1981年)
丸橋歯科クリニック連雀町診療所開院
高崎市連雀町に研修施設である新診療所を開設・移転した。



連雀町診療所

19名の参加者でスタートした良い歯の会

七月
丸橋歯科の活動の中心となる**第一回「良い歯の会」**が行われた。

昭和五十七年六月(1982年)
院内読書会
大岡昇平、詩人鮎川信夫など第一次戦後派の作品を中心に、文学とは何か、を学んでゆく。
九月「いのち」第一号発刊

渡辺さんが編集責任者となる

昭和五十八年五月(1983年)
「自然・いのちを守る県民会議」発足
高崎市観音山への殺虫剤・スミチオン空中散布計画発表に抗して「良い歯の会」他十八団体が結集し、発足。渡辺さんが事務局担当となる。

九月
「良い歯の会・特別講演会『生存の条件を探る』」開催
講師　宮脇昭先生
「人類は生きのびられるか」
講師　丸橋賢先生
「現代の食生活がもたらす心身の荒廃について」

昭和五十八年十月(1983年)
県民会議主催特別講演会『生存の条件を探る』
講師　宮脇昭先生
「自然と人間の最後の平和条約をどう結ぶか」
講師　日野厚先生
「生態学的に見た病と健康」

十一月
県民会議機関紙「いのちを守る」発刊
渡辺さんが編集責任者となる。

千人を超える聴衆で埋め尽くされた講演会

昭和五十九年七月(1984年)
県民会議主催特別講演会『生存の条件を探る』
講師　宮脇昭先生
「人類は生きのびられるか」
講師　丸橋賢先生
「現代の食生活がもたらす心身の荒廃について」

昭和五十九年十月(1984年)
「良い歯の会」4周年記念特別講演会「食・親と子」
講師　多摩動物公園園長　中川志郎先生
「親である条件―動物から学ぶ子育ての知恵―」
講師　丸橋賢先生
「子供のいのちを左右する母の生き方・母の生きざま、死にざまから学んだもの―」

昭和五十八年(1983年)
「良い歯の会」二十周年記念講演会「いのちを育む・心を育む」開催
講師　大田尭先生
「今、子育て教育に問われているもの」
講師　丸橋賢先生
「健やかないのちを育てた母親たち」

八月
第一回生態学的歯科臨床セミナー開講
渡辺さんが事務局を担当。食事指導の講義も務める。

昭和六十一年一月(1986年)
大仁自然農場へ健康調査
自然農法を営み集団生活をしている方々の健康調査から、健康が成立するためには正しい食生活と自然環境、健全な文化が重要と再確認する。

九月
県民会議主催特別講演会「政治家と文学者が語る人間と地球の将来」
講師　作家　井上靖先生
「人間の文学」
講師　元環境庁長官　大石武一先生　「地球に将来があるか」

十一月
中国フッ素研究会参加
ハマチの養殖場見学
背曲がりハマチを観察して危険な養殖魚の実態を認識。

昭和六十一年九月(1987年)
県民会議主催「フォーラム87みんなで幸せ都市をつくろう」開催
基調講演とパネルディスカッション　宮脇昭先生他

昭和六十二年五月(1986年)
県民会議の活動により高崎観音山へのスミチオン空中散布中止

七月
第八回フッ素研究会一般公開講演会開催
会長　丸橋賢
講師　田村豊蓁先生
「群馬県各市町村の死亡多発地帯とその対策」
講師　柳澤文徳先生
「フッ素の毒性」

平成二年七月(1991年)
「良い歯の会」十周年記念講演会「いのちを育む・心を育む」開催
講師　大田尭先生
「今、子育て教育に問われているもの」
講師　丸橋賢先生
「健やかないのちを育てた母親たち」

八月
第一回生態学的歯科臨床セミナー開講
渡辺さんが事務局を担当。食事指導の講義も務める。

平成八年二月(1996年)
高崎市紺町に新診療所を開院

八月
ギリシャ・コス島で医学史学会、メディカルオリンピアード参加。

平成十年九月(1998年)
東欧(ポーランド・チェコ)調査

平成十二年二月(2000年)
ケニアでマサイ族の大規模調査

過酷な気候の中、マサイ族の調査をカメラに収める渡辺さん

七月
「良い歯の会」二十周年記念大健康展・健康相談会開催

平成十二年一月(2001年)
南米(アルゼンチン・ペルー・ブラジル)へ調査

四月

渡辺さんが日本ホリスティック医学協会の生活習慣病予防指導士の資格を取得

八月
モンゴル遊牧民と都市生活者の比較大規模調査

九月
北朝鮮へ調査

平成十三年二月(2001年)
タイへ調査

六月
敦煌、西安、シルクロードへ調査

九月
モンゴルで追加調査

十二月
中東(シリア、ヨルダン、レバノン)へ調査

平成十四年二月(2002年)
ミャンマーへ調査

十二月
エジプトへ調査

平成十五年二月(2003年)
高崎市栄町に「丸橋全人歯科」、緑町に「丸橋ファミリー歯科」を開院

九月
「良い歯の会」二十三周年記念講演(全人医学と発皮刀)
講師　安保徹先生

平成十六年九月(2004年)
中東(シリア、ヨルダン、レバノン)へ調査

十一月
「良い歯の会」二十五周年記念講演(全人医学と発皮刀)
講師　安保徹先生

平成十七年五月(2005年)
キューバへ調査

十一月
「良い歯の会」二十五周年記念
東京特別講演と健康展開催

平成十八年六月(2006年)
「良い歯の会」二十四回記念交流会

六月
イギリスへ調査

七月
「退化する若者たち」東京出版記念講演会

平成九年一月(2007年)
農水省主催「地域に根ざした食育コンクール」にて「良い歯の会」が特別賞・審査委員提励賞を受賞

表彰式での渡辺さん。「良い歯の会」の活動が認められ感慨深いものがあったであろう

三月
イランへ調査

平成十二年一月(2008年)
第三百十九回「良い歯の会」大試食会

第319回「良い歯の会」食べ比べ会で解説する渡辺さん。これが最後の仕事となった

良い歯の会の活動は二十八年目に入り定例と外部からの依頼のものを合わせた講演活動は合計七二二回、参加者はのべ五七四七三人となりました。ここに記載した活動・調査で得た智恵が「良い歯の会」に参加、あるいは丸橋歯科に来院する多くの方々の健康に寄与してきました。

その全ての活動に渡辺さんの尽力があったことを記させていただきます。

食育フェアで本物の食を啓蒙する渡辺さん

親と子の「ぐんま食育フェア」開催

故　渡辺浅乃さんを偲ぶ会

二七年間に亘り、「良い歯の会」の活動を担ってきた渡辺浅乃さんが本年二月十五日に永眠されました。

生前の渡辺さんを偲び、親交の深かった方々をお招きして去る三月十二日に高崎サンパレスにおいて「故渡辺浅乃さんを偲ぶ会」を執り行いました。参加者は「良い歯の会」、丸橋歯科関係者、従業員を含め百十名で、当日は渡辺さんが毎年コンサートを楽しみにし、深い理解と支援の心を抱き続けたチェンバロ演奏の第一人者、大木和音さんによる演奏会が行われました。出席者も在りし日の渡辺さんを思いつつ、チェンバロ独特の音色に聞き入っていました。

また、開院から現在までの「良い歯の会」の活動の歴史をスライド上映しました。渡辺さんがかわってきた膨大な仕事量や、「良い歯の会」の活動において中心的な役割を担ってきたことを再認識させられました。食事をしながら渡辺さんとともに活動をされた方々や実際に食事指導を受けた患者さんのお話を聞き、渡辺さんの活動やエネルギッシュ様子が確かに受け継がれていることを実感した一日でした。

渡辺さん、ご苦労様でした。ご冥福を心からお祈りします。

霊界との連鎖

サムエル幼稚園理事長　水沼武彦

人は皆、創造主の愛と思いを秘めてこの世に生を与えられたと思います。人それぞれ、その使命を感じ、生きることができたら幸福でありましょう。

渡辺浅乃さんの葬儀の席にて、ご冥福を祈っていると、私の心を満たした思いは、永く生きることが必ずしもしあわせなのではない、使命に照何に生きたかが重要なのである、と。

渡辺浅乃さんは、与えられた意義ある使命に生き、全うされた。それは実に見事であったと深く感じ、涙と共に担手をおくりました。

やがて、創造主の御国にて、また会える日を信じ、望み、祈ります。

「君ゆきて　霊界との連鎖ができる」

渡辺浅乃さんの思い出

歯科医師　舟久保せいこ

私が丸橋歯科にお世話になったのは昭和五十五年から三年間でしたが、渡辺さんはその時からすでに歯科助手として働いていらっしゃいました。卒業してから六年間、大学で義歯関係の医局に残り、開業医の世界を知らなかった私にとって、丸橋歯科での三年間はその後の人生を決定する程とても有意義な期間でした。その様々な場面に渡辺さんとの思い出がちりばめられています。日野厚先生と宮脇昭先生をお招きし、丸橋賢先生が高崎市の公会堂で行ったシンポジウムのこと、「いのち」の新聞のこと、良い歯の会のことは、渡辺さんが一手に引き受けて下さったことと、毎回送っていただく新聞を楽しみに読ませていただいておりました。突然の悲報に接し、もう一度お会いしたかったと……。病の身体で最後まで丸橋歯科の職を全うした渡辺さんの見事な生き方に対して、心からの称賛を送りたいと思います。

「偲ぶ会」で手にとった資料をみて

農山漁村文化協会　青木三郎

「良い歯の会」開催以前に発行された、丸橋歯科の合宿研修の報告集に出会った。そこには、丸橋歯科での仕事のあり方・患者さんのことから受け付けの仕事の方、さらには、医療そのものの問題、さらには渡辺さんのように現代時に通じて、自分を問い直すことまでスタッフによって書き留められていた。

スタッフ各々が、自分の課題をもち、まもの発表している。そんな合宿研修を経て、患者さんも含めて開かれた研修会「良い歯の会」のこと、良い歯の会、みんなで行った院内旅行や戦後今浮の研修会等など……。

私が退職したあと、「いのち」の新聞の発行と良い歯の会のことは、渡辺さんが一手に引き受けて下さったことと、毎回送っていただく新聞を楽しみに読ませていただいておりました。突然の悲報に接し、もう一度お会いしたかったと……。病の身体で最後まで丸橋歯科の職を全うした渡辺さんの見事な生き方に対して、心からの称賛を送りたいと思います。

渡辺浅乃さん追悼文集「良い歯の会」から広がる信頼の和

渡辺浅乃さんを偲んで

山村　博

私が丸橋歯科に駆け込んだのは今から二十一年前の四十歳を迎える時でした。昭和二十二年生まれの団塊世代の私は何事にも競争と過酷な仕事の連続でした。気が付いた時には歯槽膿漏と高血圧症を発症、院長の診療後は即渡辺浅乃さんの問診が始まり今でも思い出すあのやさしい声でズバッと「山村さん、今迄の生活習慣からこれからの生活習慣に変えましょう。今週土曜日の良い歯の会に家族全員で来てください。何故なら、家族の理解と応援が必要です。そして体の中から治しましょうね」と言われ、院長先生からは「徹底的に治療しますか？二十二本」と尋ねられ、考えた結果、素直にお任せすることにしました。治療期間はインプラントを含めて約二年、感謝、感謝です。院長の根管治療、渡辺さんからは一般的に何度も、何度も声を掛けて繰り返月一度は問診が三階で行われ、血圧の報告と生活習慣の詳しい報告もしました。

家内もほうれん草のおひたしは日課となり、今でも毎日続けています。

私の体と精神力はこの歯科治療によって再生されたと今でも思って居ります。感謝。

浅乃さんありがとう

大塚一吉

良い歯の会がスタートした頃に、ちょうど私も有機農業を志しました。渡辺浅乃さんはいつもそんな私を励まし応援してくれました。浅乃さんと接していると不思議な安心感がありました。浅乃さんと最後にお会いしたのは昨年の十二月、三世代の体の変化を調べるためにといくつものカメラを持って私の家にきてくれた時でした。あの時の元気な笑顔が今でも忘れられません。「命ではなく「農智」。浅乃さんは「医農智」の詩で、私達に生き方を問いかけていました。これからも、浅乃さんに出会った時の初志を貫きやっていこうと思います。浅乃さんの安らかなご冥福をお祈りいたします。

食育フェアで大塚さんの作った有機野菜を出展

思い出す渡辺浅乃さんのこと

國枝淑子

「渡辺浅乃さんを偲ぶ会」のご通知が郵送され非常に驚き、信じられず、何度も読み返してしまいました。

私は渡辺浅乃さんから〝身体に良い食品の取り方〟健康な日常生活、健康な身体、等々教えて頂き、浅乃さんは幅広い知識を元に良い年を重ねて行かれる方と思って頂き、真面目で穏やかで普通の気持ちでお話しの中に思い出します。

ご病気を何一つ現さなかった事を思います。

一生だったと心から思われます。浅乃さんが最後まで全力を尽くされた「良い歯の会」が末長く続き、世の中に広まって行くと思います。心からご冥福をお祈り申し上げます。

千の風になって

青柳百合子

私が渡辺さんを思い出しますのは何年か前の事です。院長の御自宅で一緒に梅の実を取ったのが初めでした。彼女は慣れていても、見えて大きなビニールシートをひげて梅の実を入れる袋を用意したりして、とても活発な人でした。私は患者の立場ですから、いつもお会いしていた訳ではないのですが、院内へ私の人形を飾って頂いていますが、その密口を目然と彼女がやって下さいました。そんなおつき合いでしたが、心からお話しの出来る人でした。とても残念です。彼女は今、千の風になって皆さんの所にいるのでしょう。

思いは消えることなく

布目聖子

渡辺さん、たくさんありがとう。二十七年にわたる「良い歯の会」の学習会、そして「いのち」の発行といのちを守るための活動は、渡辺さんの存在なくしては語れません。淡々と上品な静かな語り口で「良い歯の会」の準備や進行をされていた姿が思い出されます。

丸橋先生の活動の側には、いつも渡辺さんの姿がありました。社会が間違った方向に流れていく中で、真実を追究して、稀有な命の元で住事に邁進されたことは、丸橋先生ご自身にとっても大きな存在であったことと思います。あなたが残してくれたことは、私の心の中で消えることはありません。

おもかげに

石原正美

渡辺さん、お会いすると必ず声をかけてくださいましたね。親の介護中であることを話すと、「ご両親はしあわせですね」と、涙を浮かべておられました。

あれから半年…。花に埋もれた祭壇の前に、あなたを送るお父様の姿を見て、あの時の涙を思いました。命尽きるまで自分の道を全うした浅乃さんの遺影は、花のようにおきれいで、たっぷりとした笑顔に見とれていました。

魂をさぞかし衝撃を受けた「良い歯の会」から十七年。命の住組を見失わないように生きようと思います。渡辺さん、ありがとう。

いのちを繋いだ一筋の道

吉岡和紗

丸橋先生の講演を聞いて十五年、公私共にお世話になっている果報者です。お母さんの手作り品から始まったパン焼きをずっと見守って下さった良い歯の会、十五周年の折、パンを送っての電話に胸逸る思い、自分にもパンチを入れたものです。その後、試食会等ではとれ程の励ましと成長の糧を頂いたことか。良い歯の会と共に二十七年、ご自分の命を紡ぎ、医農智に込めた思い、不屈の精神で貫かれた渡辺さん。「国に対し労様でした。そしてありがとう！苦笑を共に活動して来られた丸橋先生、スタッフの方々有り難うございます。

信頼ふたたび

埼玉県　K・H

私共夫婦は共に父を癌で亡くし闘病期間中の医療関係者の冷淡な対応等に強い不信感を抱いて以降、どの病院でも同様の思いでしましたが、丸橋歯科で院長先生、渡辺さん及びスタッフの方と出会い、身体だけでなく心まで癒されました。その後、通院の度に参加した『良い歯の会』において院長先生の お話と同会の機関誌「いのち」の中の渡辺さんの記事「いのち」と「偽物食品の国ニッポン」等により信頼感が深まりました。通院の度に病弱だった家内と幼かった子どもに温かく声をかけて下さった浅乃さん。『信頼の和』を拡げる活動に全力疾走、天折された渡辺さんに深謝致します。

小さな道

井波未知子

『医・農・智』渡辺浅乃さんはこの詩をどんな気持ちで書かれたのでしょう。この短い十二行の詩は深く重くそして自責の気持ちを呼び起こす様に私の心にせまってきます。

いつの世もこの世の垢はひとりひとりの無責任な心から生まれます。そして誠実な人間はその前で心痛めながらもよりよい道を模索して前に進んでゆきます。

渡辺さんのつくられたこの地道を私も歩んできました。そして新しい患者の方達がまたその上を踏み固めてゆきます。いつの時代もこうして大きな道は切り拓かれ次の世に受け継がれてゆきます。

心より御冥福をお祈り致します。

渡辺浅乃さんを悼む

佐藤利雄

渡辺さんとの出会いは、昭和五十八年、「良い歯の会」への参加を きっかけに、私自身の治療 噛み合わせ調整を皮切りに、同僚 部下、ひいては家内、妹と、丸橋先生を はじめ諸先生方に、それぞれ大変お世話になりました。

その間、渡辺さんには、我々の、それこそまちまちな心配事や相談事に対して、いやな顔ひとつせず、いつもやさしく、本当に丁寧に、親切に対応していただきました。

さらに、私の職務の一つでもあった環境問題についても、十分な知識とご意見を持っておられ、折に触れて、二人でいろいろな話をしました。「安全・環境で問題ある各業種は、それだけ智恵が足りないことを示しており、肝心の技術 経営も、その程度のレベルであると、自ら示しているようなものだ」と、私が言った時に、「企業内部にも、そんな考え方を持った人がいるのですね」、と言われたことが、昨日のことように、思い出されます。

ご期待を裏切らないように、残った我々が貴女の志を継ぎます。安らかにお休みください。

合掌

根岸洋一

旧宮城村収入役　根岸洋一

「新鮮で美味しい感じはするけど、何が喉が渇いてお水が欲しくなりますね」今から二十年位前でしょうか、赤城山南麓の全自動野菜水耕栽培施設を、丸橋先生、渡辺さんなどスタッフの皆さんをご案内し、その場で生野菜の味見をさせていただいた際、渡辺さんが言われた言葉が、耳に残っており、やっぱり〝本物〟とは違うな、直感的にそんな印象が強くあったのだと思います。良い歯の会の食べ比べの試食会でも本物の〝農〟「食」などのお話を熱くされて実際に私も試食させてもらい、〝本物〟と〝ニセ物〟の違いの凄さに驚かされたと同時に、現在の「農・食」を通し、いろいろと考えさせられました。継続はカなりと申しますがコツコツと地道に取り組む努力がもっとも大切であると同時に、その事が、もっとも言うは易く行うは難いものでありますが、それを身もって体現されてまいりました。全力疾走お疲れさまでした。あきらめきれない思いを抱きながら主前の御活躍に深く感謝の気持ちを胸一杯と共にご冥福をお祈りいたします。

根岸さんの案内で野菜の水耕栽培を調査する

全人歯科医療の集大成
患者さんと治す本当の全人歯科医療

丸橋全人歯科　全身咬合学会認定医　亀井　琢正

古代ギリシャの医師ヒポクラテスが二四〇〇年以上前の紀元前の昔、原始的な迷信や呪術と混同された医術を、優れた観察力と洞察力をもって科学的なものへと発展させました。

そのヒポクラテスより科学的に発展した医学は、今日、非常に細分化され高度に分析的になってしまっています。そのため、一部の臓器や病にばかり目が行き、病人全体を見ていない風潮があるのは皆さんが周知のとおりです。しかし、ほんとうに治すためには生活習慣や社会環境まで含めて患者さんを見つめ、診断する必要があるのです。

歯科医療に長年携わる中で

当院長が長年歯科医療に携わる中で、治療しても完全には治らない、対症療法の限界を痛感し、医学の原点に返って患者さんを見つめ直しました。虫歯を治しても、歯磨き指導をしても治療を要する人や、歯周病の処置をしても治りに限界を感じる例が多く、単なる歯科治療の限界を感じたのです。そこで単に歯や歯肉だけの問題なのか、それとも他の大きな問題があるのかという点に行き着いたのです。人間を一つの生命体としてもう一度見直し、診断するヒポクラテスが行っていた全人的視点です。

ただ単に一部分の原因が問題であればそこだけを治せば治ります。しかし、長年多くの悩みを抱える患者さんは単純で部分的な問題だけを抱えていることは実は非常に少ないのです。

歯周病の診断に

当院では当時の厚生省が歯周病を生活習慣病と認定するかなり以前から生活由来性疾患として歯周病の治療を行ってきました。例えば診断時に顔色や皮膚、爪の色、そしてそれらの質感から見られる生命力を観察し、診断の材料にすることです。まさに全人的視点です。例として歯周病では単純に不衛生で歯周病に悩んでいる人は実は少数なのです。本当に不潔であることだけが原因で歯周病で悩んでいる人は、清潔にしてあげればたちどころによく治ります。しかし歯周病は、歯磨きだけでは改善せず、多くは他に大きな原因があるのです。その一つは外傷性咬合と呼ばれるもので、歯に暴力的な力が加わることで歯を支える骨に負担がきて炎症を起こす場合です。これは治療で歯に加わる力のコントロールを正しく行えば改善します。しかしそれ以上に重要で大きな問題があることが多く、それは生活習慣なのです。

歯周病と食生活

食生活が乱れ外食や偏食が多い方は、歯を支える歯肉や骨の活性が低下し歯周病が進行しやすく、治療だけしてもなかなか良くは治りません。喫煙者もタバコによる血管の収縮により充分な栄養供給が歯肉に届かず歯周病を進行させます。また仕事が忙しくストレスが多い方や徹夜が多い方はレントゲンで見ると骨の表面がぼそぼそとして、骨が溶かされている状況を目にすることがよくあります。そういった方を初めからその人の皮膚や顔の質感、色などの目で見た視診で生命力をつかみ診断していくのが歯周病治療では大変役に立つのです。

食生活などが乱れている人に対しては、治療と並行して生活習慣病予防指導士の資格を持っていた当院の渡辺さんが中心となって食生活指導を行い、治療に大きく貢献してきました。また今年で二八年目を迎える「良い歯の会」は当院の患者さんだけでなく、どなたでも無料で参加できる会です。全人医療を患者さんと共に実践するための大変意味のある会で他に類を見ないものです。まさに「良い歯の会」は当院の全人医療の大きな柱の一つなのです。この中でも試食会を中心とした企画に永い間渡辺さんが携わってきました。

生活習慣と咬み合わせ

近年咬み合わせの問題を抱えて来院する方が増えています。肩凝りや腰痛を訴える方から重度になるとかなり精神的に参っている人も見られます。

咬み合わせの問題のある人の傾向は、顎が細く歯の生えるスペースが不足しているために、きれいに並びきらずに咬みあわせを悪くしていることです。つまり咬み合わせが悪いのは歯が悪いのではなく顎の骨の形が悪いのです。この顎の骨の問題は、食生活に由来する後天的な要素が大きく、現代の柔らかい物を食べるようになった世代から急速に増加しています。

咬み合わせの治療においても、全人的視点が欠かせません。その人の姿勢をみて咬み合わせのずれを診ていくのはもちろんのこと、全身の筋肉量も咬み合わせ治療の診断に重要なポイントです。咬み合わせのずれは顎のずれを引き起こします。特に下顎は頭のバランサーの役目があり、これがずれると頭が傾き、ひいては姿勢が乱れます。筋肉量が多ければ多少の顎のずれも支えてくれますが、筋肉量が不足するとずれに任せて姿勢が乱れます。この咬み合わせのずれは徐々に全身の骨格の歪みを促し、不要な筋の緊張や神経の圧迫などを生じさせ、様々な不定愁訴を引き起こします。奥歯が磨耗したり、なくなったりすれば腰痛になりやすく、咬み合わせが片方にずれていれば体の重心が傾くため、股関節やひざの痛みを訴えます。また、持続的な咬み合わせのストレスによる無意識の緊張状態が続くことで自律神経の不調和を起こすこともわかっているのです。

この様に口の中の健康と全身との関わりは大変深く、それを読み取ることで生きる力をもう一度蘇らせる、質の高い全人医療を達成できるのです。

「退化する若者たち」に反響続々
東京大学より講演依頼を受ける

若者の体力・気力の低下や不登校、ニートが食べものやしつけと関連付けて述べられることはよくあるが、治療現場の現実から、生物学的な顎の退化と関係していることを鋭く考察し、警鐘を鳴らした一冊「退化する若者たち」が発売以来反響を呼んでいる。

本を読んで興味をもった東京大学大学院の山田茂准教授より依頼を受け、二〇〇八年三月二五日、丸橋賢院長が東京大学教養学部にて講演を行った。山田准教授をはじめ東大教授六名の他、大阪大学、順天堂大学の教授など二〇名ほどで構成される「子どもの健康を求めて　指導者協議会」という研究グループから依頼されたものだ。教科書作りや授業のあり方について文部科学省に意見書を提出しているこの研究グループは、丸橋院長が本の中で、最近の日本の若者の身心の変化が生物学的な「退化」に起因しているという独自の意見を、歯科の臨床経験や日本人の変遷・戦後の文化的崩壊と共に考察している点に興味を持ったため講演を依頼してきたものだ。

「若年者に起きている生物学的異変と対策」というテーマで講演を行い、講演後には幾つもの質問が飛び交うほどの盛り上がりようであった。

東大での講演後、参加した有識者の方々から質問を受ける丸橋賢院長

28年目を迎えた良い歯の会

良い歯の会に参加しましょう！

〈ご　案　内〉

■日　時　毎月第２土曜日　午後１時30分～５時
■場　所　丸橋全人歯科３階研修室
■内　容　４回連続参加で１シリーズ

	内　容	開　催　月		
①	環境と人間の生き方を考える	1月	5月	9月
②	ムシバ予防を中心に家族を考える	2月	6月	10月
③	歯周病と生活習慣病を克服しよう	3月	7月	11月
④	退化病と闘う	4月	8月	12月

■定　員　60人（入場無料）

ご家族、お友達などお誘い合わせのうえ、ご参加ください。その他、試食会（本物食品と市販食品の食べ比べやおすすめメニュー紹介など）も行っています。

http://www.maruhashi.com/

お電話でご予約ください。☎027-323-9524.

※毎月第２土曜日開催が原則ですが、祝日・夏期休暇等と重なる場合は第１か第３土曜日に変更となります。詳しくはお問い合わせください。
※各グループなどで、講演のご希望があればご連絡ください。

「良い歯の会」に参加された方の感動の声

今回初めて参加させて頂きましたが、院長先生のあらゆる方面への造詣の深さに夢中に話を聞き、スライドも少し難しいテーマから身近なテーマと切り口が面白く構成が工夫されていて最後まで関心を持ってお話が聞けました。試食会も漬物を同時に食べ比べて初めて市販のものとの違いが良く分かりました。ご飯も山菜も新鮮さが伝わりおいしかったです。ありがとうございました。（37歳・男性）

単純に歯の治療は歯科的治療で良いと思っておりましたが、お話を伺い正しい本物の食品をとる事は勿論、心のあり方や考え方等、色々勉強となりました。（61歳・女性）

試食会ではかつて母が作ってくれた料理を思い出しました。日本の昔からの食材にはすぐれたものが多いことを実感しました。そして手作りのものは栄養素以外の美味の素がたっぷりつまっていました。お心遣いありがとうございました。（62歳・女性）

「良い歯の会」28周年記念

『東京特別講演と相談会』のご案内

▶**日時**　平成20年11月16日（日）　10：00～17：00
▶**場所**　有楽町マリオン11階　朝日ホール（JR有楽町駅徒歩２分）
▶**講演会**　①10：30～　丸橋歯科　「良い歯の会」　主宰　**丸橋　賢**
臨床講演
②13：00～　食品添加物評論家　**安部　司**
「食品の裏側」　－食の本当の豊かさとは－
他臨床講演を予定
▶**同時開催：無料歯科相談と健康展**　**高崎より無料送迎バス予定（要予約）**

食品添加物の現状、食生活の危機を訴えた、70万部を突破するベストセラー「食品の裏側」の著者、安部　司氏にご講演をいただきます。ご期待下さい。

（都合により内容を一部変更することがあります。）

主催　丸橋歯科「良い歯の会」

「良い歯の会」

歯科健康相談とミニ講演会開催

二〇〇八年三月十六日（日）、丸橋全人歯科において歯科健康相談とミニ講演会を開催した。総計で二五九名と予想を大きく上回る方々の参加があり、当院のドクター・スタッフが歯科治療に対する相談に答えた。

また、「咬合治療の実際」、「矯正治療の実際」、「インプラント・造骨治療の実際」と題し、専門のドクターによる三〇分程のミニ講演も行なった。丸橋全人歯科での治療の実際をわかりやすく解説したこの講演には、多くの人がつめかけた。

一方、一階フロアーでは歯周病や矯正、インプラントなど治療のパネル展示のほか、口臭測定や骨密度測定等も行い、来場者の人気を集めた。

参加者の相談内容を聞きながら、治療すれば問題なく治癒する単純な例で悩んだり、治療に不安や疑問をもっている方がいかに多いかを思い知らされた一日となった。

来場者の歯科相談を受けるスタッフ

編集後記

院内研修で有機栽培の農場を見学した。本物を見た瞬間、その野菜の色艶や葉の厚み、質感の違いが歴然としていて衝撃を受けた。味も格段に異なる。本物を見れば偽者との差がはっきりと認識できる。自分を変えるのに十分な動機付けができるのだ。

二七年間、そして最後には病を押してまで渡辺さんが「良い歯の会」の食べ比べ会で伝えてきた、世俗に流されず、本物・本質を見る目を患者さんに伝えていかなければと思います。（辻本仁志）